

UM販売購買 リリースノート 2302E

発行日	2023/03/27
最終改訂日	—

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

目次

目次	1
改訂履歴	2
1. 概要	3
2. 詳細	4
2.1. 受注/出荷実績に梱包機能を追加	4
2.2. 仕入API機能追加	4
2.3. 得意先元帳照会機能の追加	4
2.4. 仕入先元帳照会機能の改善	4
2.5. 債権締指示、残高計算処理改善	4
2.6. 前払金、支払実績入力(単票) 基軸換算対応の機能追加	5
2.7. 支払締/請求締 エラー時のChatter通知機能追加	5
2.8. 適格請求書出力機能追加	5
2.9. 取引先マスタの入力チェックを変更	5
2.10. 各伝票作成時の入力チェックを変更	6
2.11. 明細コンポーネント表示項目 必須設定追加	6
2.12. 受注、受注見積 住所入力機能改善	8
2.13. 入荷実績 契約数量を超える入荷許可機能追加	8
2.14. 出荷実績、入荷実績の行追加制御方法の変更	8
2.15. 売上、請求、仕入、支払予定 部門と担当者の初期設定機能追加	8
2.16. 請求締、支払締、支払実績(一括) 伝票遷移をボタンからリンクに変更	9
2.17. 債権消込明細の消費税計算区分を廃止	9
2.18. 債権/債務奉行クラウドAPI連携の変更	10
2.19. 勘定奉行クラウドの仕訳連携を改善	10
2.20. 不具合修正	11
4. アップグレード手順	14
5. UM販売購買用設定	17
5.1. UM共通設定	17

改訂履歴

改訂日	Ver.	改訂内容
2023/03/27	1.90	発行

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

- 受注/出荷実績に梱包機能を追加
- 仕入API機能追加
- 得意先元帳照会機能の追加
- 仕入先元帳照会機能の改善
- 債権締指示、残高計算処理改善
- 前払金、支払実績入力(単票) 基軸換算対応の機能追加
- 支払締/請求締 エラー時のChatter通知機能を追加
- 適格請求書出力機能追加
- 取引先マスタの入力チェックを変更
- 各伝票作成時の入力チェックを変更
- 明細コンポーネント表示項目 必須設定追加
- 受注、受注見積 住所入力機能改善
- 入荷実績 契約数量を超える入荷許可機能追加
- 出荷実績、入荷実績の行追加制御方法の変更
- 売上、請求、仕入、支払予定 部門と担当者の初期設定機能追加
- 請求締、支払締、支払実績(一括) 伝票遷移をボタンからリンクに変更
- 債権消込明細の消費税計算区分を廃止
- 債権/債務奉行クラウドAPI連携の変更
- 勘定奉行クラウドの仕訳連携を改善
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [詳細] よりご確認ください。

アップグレード後の各変更による設定の追加等につきましては、[UM販売購買用設定]よりご確認ください。

2. 詳細

2.1. 受注/出荷実績に梱包機能を追加

受注明細に対して、梱包割当入力画面から、梱包の割当が可能になりました。梱包が割り当てられた受注に対して出荷実績を作成すると梱包情報が出荷実績に引き継がれます。

※詳細は「UM販売購買:ユーザーガイド」の「梱包割当」をご参照ください。

2.2. 仕入API機能追加

仕入伝票の登録用API機能が追加されました。これにより、外部システムからのAPIでの登録処理が可能となりました。こちらを用いて外部システムより仕入APIの処理を呼び出すことができます。

※本バージョンでは登録のみとなります。

2.3. 得意先元帳照会機能の追加

検索条件に応じた得意先元帳情報を表示します。

前月繰越の情報、該当月の情報を表示します。

UM販売購買アプリケーションの「得意先元帳照会」タブからご利用いただけます。

※詳細は「UM販売購買(債権債務):ユーザーガイド」の「得意先元帳照会」をご参照ください。

■表示対象伝票

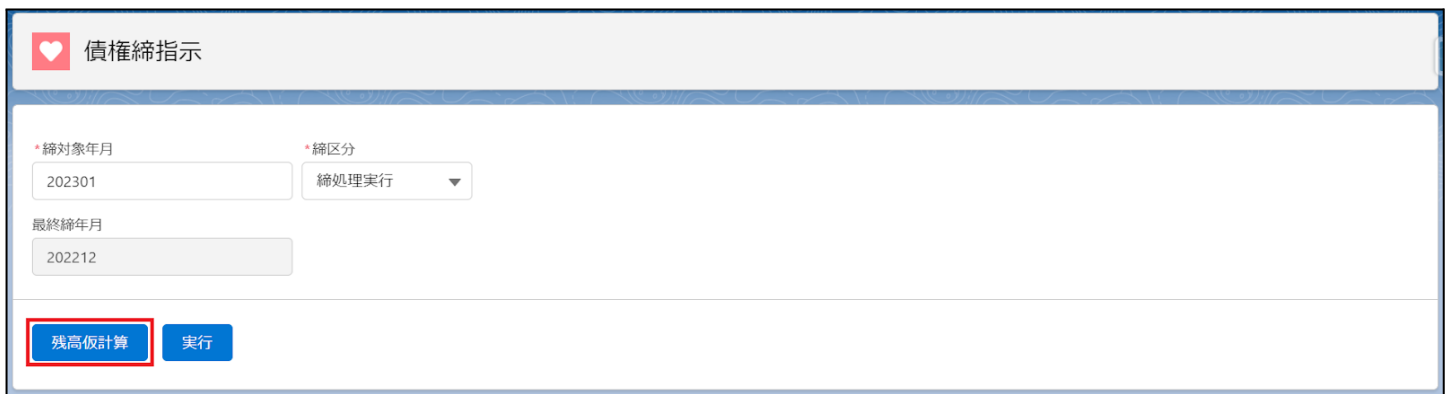
- ・売掛残高
- ・売上
- ・請求
- ・債権消込

2.4. 仕入先元帳照会機能の改善

- 日付、伝票区分が同じ伝票を、伝票番号順に表示するよう修正しました。
- 検索結果がヒットしない場合も、前月繰越行を残高0で表示するよう修正しました。
- 画面の年月検索条件に、システム年月が初期セットされるよう修正しました。
- 必須項目が未入力の場合にメッセージを表示するよう修正しました。

2.5. 債権締指示、残高計算処理改善

- 債権締指示画面に、「残高仮計算」ボタンを追加し、債権締処理実行前に売掛残高の残高計算を行えるよう機能を追加しました。



- これまで、売上や請求、債権消込を作成する毎に残高を更新していましたが、本バージョンより、債権締指示画面から残高の作成を行う様に変更しました。
また、得意先元帳、請求残高、回収残高の作成は行わず、売掛残高のみ作成するよう修正しました。
- 売掛残高に関してこれまで、「得意先、部門、通貨、計上月」で集約して残高計上していましたが、本バージョンより、「請求先、通貨、計上月」で集約して残高計上するように変更しました。

2.6. 前払金、支払実績入力(単票) 基軸換算対応の機能追加

前払金の画面に「通貨」「レート」「基軸換算金額」を追加しました。

レートや支払金額を変更した場合や保存ボタンをクリックした場合に、基軸換算計算が行われるよう処理を追加しました。

また、支払実績入力(単票)の画面にて外貨の前払金を選択された場合、前払金額と消込金額が同額の場合にのみ消し込まれるように制御を追加しました。

2.7. 支払締／請求締 エラー時のChatter通知機能追加

支払締時に発生したエラー内容を、支払予定作成元の仕入伝票のChatter欄で確認できるようになりました。

請求締時に発生したエラー内容を、請求作成元の売上传票のChatter欄で確認できるようになりました。

2.8. 適格請求書出力機能追加

適格請求書の出力機能を追加しました。

自社マスタ 登録開始日／終了日の期間内の請求伝票に対して、請求書に登録番号を表示します。返品や値引きなどの伝票に対しては返還請求書としてもご利用いただけます。

帳票の詳細は「UM販売購買：帳票ユーザガイド」をご参照ください。

2.9. 取引先マスタの入力チェックを変更

消費税計算区分(販売)：得意先フラグのチェックの有無にかかわらず、下記項目いずれか1項目以上入力がある場合は必須となります。

■対象項目

- ・国内決済方法(販売)
- ・売上基準区分

- ・請求締区分
- ・回収区分
- ・締日(請求)
- ・支払月(請求)
- ・支払日(請求)

消費税計算区分(購買):仕入先フラグのチェックの有無にかかわらず、下記項目いずれか1項目以上入力がある場合は必須となります。

■対象項目

- ・国内決済方法(購買)
- ・仕入基準区分
- ・支払締区分
- ・支払区分
- ・締日(支払)
- ・支払月(支払)
- ・支払日(支払)

2.10. 各伝票作成時の入力チェックを変更

- 下記の伝票作成時に請求先の国内決済方法が未設定の場合にエラーとなるよう変更しました。

■対象伝票

- ・受注見積
- ・受注
- ・出荷実績
- ・売上
- ・請求

- 下記の伝票作成時に請求先又は支払先の消費税計算区分が未設定の場合にエラーとなるよう変更しました。

■対象販売伝票

- ・受注見積
- ・受注
- ・出荷実績
- ・売上
- ・請求

■対象購買伝票

- ・発注
- ・入荷実績
- ・仕入
- ・支払予定

2.11. 明細コンポーネント表示項目 必須設定追加

項目セット「明細コンポーネント表示項目」において、項目セットに追加されている任意の項目に対して必須設定を行うことが出来るようになりました。

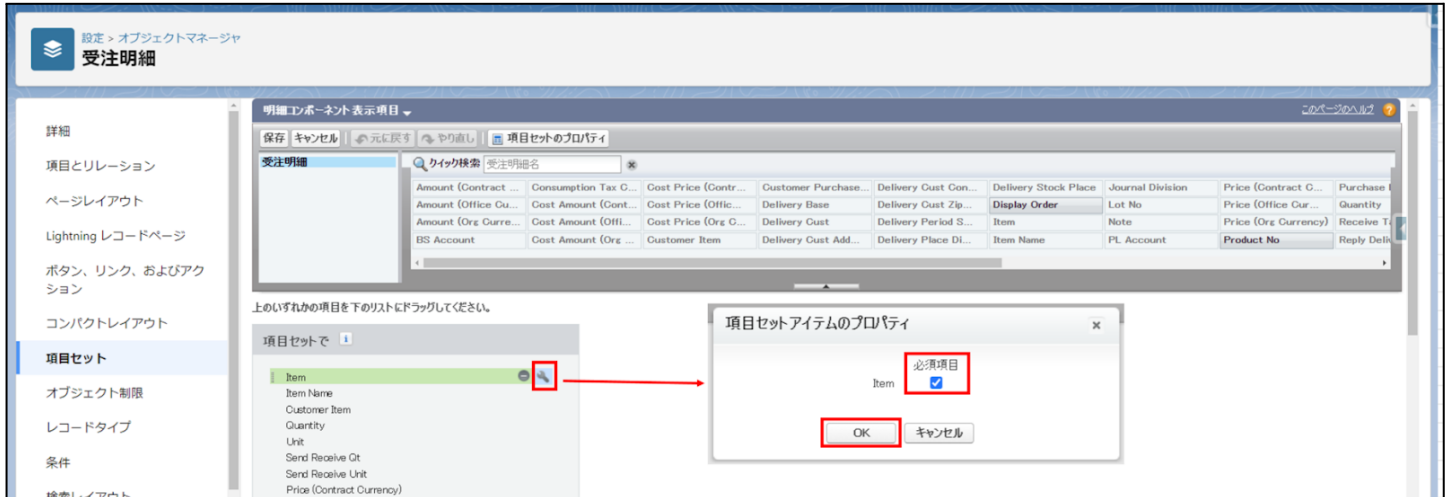
対象の項目セットや、設定手順は下記をご参照ください。

<対象項目セット>

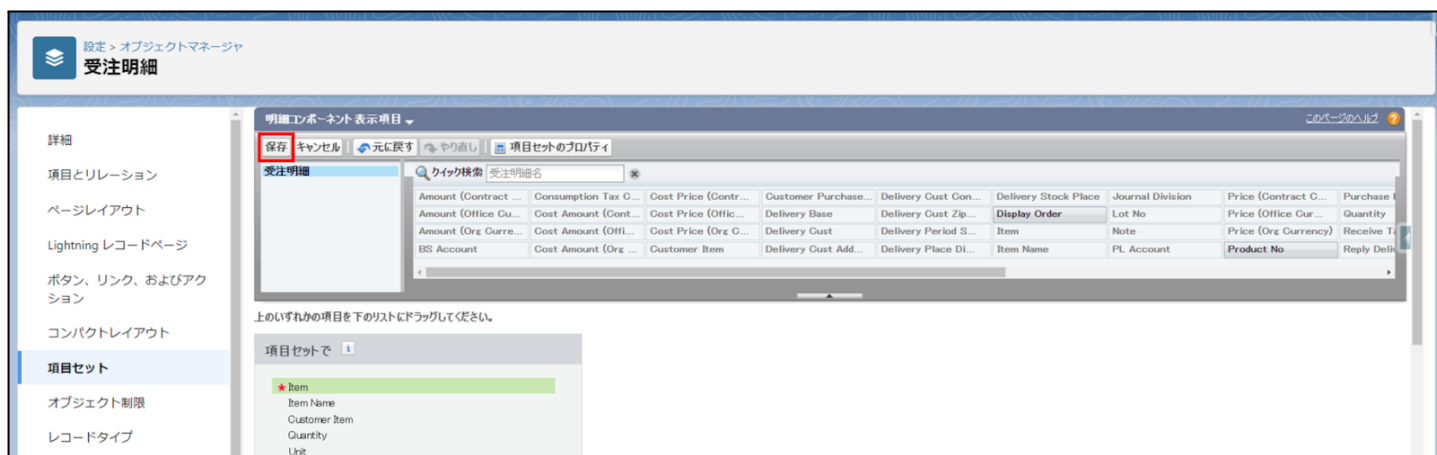
機能名	設定可能オブジェクト	項目セット名
受注見積入力	受注見積明細	明細コンポーネント表示項目
受注入力	受注明細	明細コンポーネント表示項目
出荷実績入力	出荷実績明細	明細コンポーネント表示項目
売上入力	売上明細	明細コンポーネント表示項目
請求入力	請求明細	明細コンポーネント表示項目
購買見積入力	購買見積明細	明細コンポーネント表示項目
発注入力	発注明細	明細コンポーネント表示項目
入荷実績入力	入荷実績明細	明細コンポーネント表示項目
仕入入力	仕入明細	明細コンポーネント表示項目
支払予定入力	支払予定明細	明細コンポーネント表示項目

<設定手順>

1. 対象のオブジェクトのオブジェクトマネージャより「項目セット」明細コンポーネント表示項目」をクリックします。
2. 必須にしたい項目のレンチアイコンをクリックし、必須項目のチェックをONにした状態で「OK」ボタンをクリックします。



3. 設定した項目に必須マークが付与されていることを確認し「保存」ボタンをクリックします。



2.12. 受注、受注見積 住所入力機能改善

これまで、届け先と請求先において住所を入力できる箇所は1箇所しかありませんでしたが、都道府県、市区町村、住所、ビル名ごとに住所情報を管理できるようになりました。

2.13. 入荷実績 契約数量を超える入荷許可機能追加

入荷実績入力において、発注入力で契約した数量を超える入荷が出来るような機能を追加しました。

カスタムメタデータ型「契約数を超える入荷許可」をオンにすることで、ご利用いただけます。

※入荷残がある場合（発注明細、残入荷数量が0を超える場合）のみ、本機能のご利用が可能です。

※カスタムメタデータ型の詳細につきましては、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「カスタムメタデータ型の設定【必須/任意】」をご参照ください。

2.14. 出荷実績、入荷実績の行追加制御方法の変更

保存ボタン押下時にエラーメッセージを表示し制御していましたが、行追加ボタンを非表示にするよう変更しました。

2.15. 売上、請求、仕入、支払予定 部門と担当者の初期設定機能追加

下記に記載のオブジェクト項目において、伝票作成時に未設定で登録した場合に、自動でログインユーザに紐づく値が設定されるような機能を追加しました。

本機能をご利用いただく場合は、各入力画面において部門と担当者の必須制御を外していただく必要がございます。

※手動設定の詳細は「UM共通 リリースノート」をご参照ください。

オブジェクト名	項目名
売上	営業部門
	営業担当者
	売上部門

オブジェクト名	項目名
	売上担当者
請求	営業部門
	営業担当者
	請求部門
仕入	仕入部門
	仕入担当者
支払予定	支払部門
	支払担当者

2.16. 請求締、支払締、支払実績(一括)伝票遷移をボタンからリンクに変更

その他の機能と操作性を合わせるため、下記の画面において元となる伝票への遷移方法をボタンからリンクに変更しました。

■対象画面

- ・請求締
- ・支払締
- ・支払実績入力(一括)

請求締

絞り込み条件

請求締日

2023/03/31

拠点

拠点マスタを検索中...

売上部門

部門マスタを検索中...

請求先

取引先を検索中...

マスタ締日

--なし--

通貨

通貨マスタを検索中...

売上担当者

担当者マスタを検索中...

検索

作成値

請求日

2023/03/31

請求締日

請求部門

部門マスタを検索中...

締処理

グループینگ

☐ 拠点
 ☐ 部門
 ☐ 担当者
 ☐ 得意先

表示件数

200

☐	売上日	請求締日	売上部門	売上№	請求先	得意先	総合計(取引通貨)	国内決済方法	売上名	通貨
☐	2023/02/24	2023/02/28	KO_202売上部門B	S-000000147	KO_001大阪産業	KO_001大阪産業	22,000	期日決済	KO_売上テスト0224	JPY
☐	2023/02/09	2023/02/28	KO_201売上部門A	S-000000057	KO_100取引先本社	KO_101取引先東京支店	33,000	期日決済	2253テスト4	JPY
☐	2023/02/09	2023/02/28	KO_202売上部門B	S-000000058	KO_100取引先本社	KO_101取引先東京支店	33,000	期日決済	2253テスト5	JPY
☐	2023/02/09	2023/02/28	KO_201売上部門A	S-000000054	KO_100取引先本社	KO_102取引先神戸支店	3,300	期日決済	2253テスト1	JPY
☐	2023/02/09	2023/02/28	KO_201売上部門A	S-000000055	KO_100取引先本社	KO_102取引先神戸支店	33,000	期日決済	2253テスト2	JPY
☐	2023/02/09	2023/02/28	KO_201売上部門A	S-000000056	KO_100取引先本社	KO_102取引先神戸支店	30,000	期日決済	2253テスト3	USD
☐	2023/02/09	2023/02/28	KO_201売上部門A	S-000000059	KO_100取引先本社	KO_102取引先神戸支店	3,300	現金	2253テスト6	JPY
☐	2023/02/05	2023/02/28	KO_201売上部門A	S-000000193	KO_シナリオ1-2一括	KO_シナリオ1-2一括	149	振込	KO_2302E債権シナリ	JPY

1 / 1ページ

←

→

2.17. 債権消込明細の消費税計算区分を廃止

これまで債権消込明細の消費税計算区分が登録されていましたが、回収予定分割に対応するため廃止しました。

2.18. 債権／債務奉行クラウドAPI連携の変更

- これまで請求/支払予定伝票を債権／債務奉行クラウドへAPI連携させる場合、連携用データ作成画面から行っていましたが、連携するデータをCSV出力する画面から行えるようにボタンを追加しました。

※詳細は「UM販売購買：ユーザーガイド」の「連携指示(API連携の場合)」をご参照ください。

- 上記に伴い、請求/支払予定画面から「債権連携確認」「債務連携確認」ボタンを削除しました。

2.19. 勘定奉行クラウドの仕訳連携を改善

- 仕訳・勘定奉行データ作成画面に、「勘定奉行連携」ボタンを追加し、仕訳をCSV出力もしくはAPI連携することができる画面へ遷移するように変更しました。

※詳細は「UM販売購買(債権債務)：ユーザーガイド」の「仕訳・勘定奉行データ作成(※勘定奉行クラウドご利用のお客様)」をご参照ください。

- 連携対象の仕訳の借方科目／貸方科目に対して補助科目を設定できるように機能を追加しました。補助科目コードの取得元は借方科目／貸方科目に設定される補助科目区分によって異なります。

補足) 補助科目に設定される値は下記をご参照ください。

補助科目区分	補助科目コードに設定される値
取引先	各伝票に取引先の項目がある場合、取引先の外部補助科目コードを取得
銀行	各伝票に銀行の項目がある場合、銀行の外部補助科目コードを取得
決済方法	各伝票に決済方法の項目がある場合、決済方法の外部補助科目コードを取得

2.20. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 仕入先元帳照会画面
消費税計算区分によって明細行の金額が表示されない不具合を修正しました。
- 支払締、請求締
仕入から支払予定作成時に、支払明細の単位が引き継がれない不具合を修正しました。(売上から請求を作成する場合も同様)
- 支払実績入力(一括)
複数の支払方法の支払予定を支払実績入力した場合に、作成された支払実績データの支払方法がすべて1件目と同じになる不具合を修正しました。
- 受注
 - ・受注残クローズフラグONの状態の出荷実績が作成できてしまう不具合を修正しました。
 - ・受注明細登録時に、常に受注明細. 納入在庫場所の必須チェックが行われる不具合を修正しました。
 - ・BS科目設定マスタ/PL科目設定マスタで「品目区分」を指定している場合に、一度登録した受注伝票の明細項目を修正すると、受注明細. BS科目/PL科目の値がクリアされる不具合を修正しました。
 - ・新規登録時に受注. 届け先を設定した場合、これまでは得意先の関連取引先の値に上書きされていましたが、受注. 届け先に設定した値で受注伝票が登録されるように修正しました。
- 発注
 - ・発注残クローズフラグONの状態の入荷実績が作成できてしまう不具合を修正しました。
 - ・購買オーダーから発注作成を行った場合、発注伝票の合計税額(取引通貨)、総合計(取引通貨)の値が購買オーダーから引き継がれない不具合を修正しました。
 - ・新規登録時に発注. 納入先を設定した場合、これまでは仕入先の関連取引先の値に上書きされていましたが、発注. 納入先に設定した値で発注伝票が登録されるように修正しました。
- 各伝票の会計情報セクション
編集時の必須表示が販売伝票と購買伝票で異なっていたため統一しました。
- 売上/仕入

- ・都度取引の請求／支払予定を削除した場合、売上／仕入ステータスの値がそのままになっていましたが、値がクリアされるように修正しました。
- ・請求／支払予定作成済みの売上／仕入伝票に対して、赤黒修正が出来ない不具合を修正しました。
- 仕入
 - 発注明細にお客様独自のカスタム項目(数式)を追加されている状態で、WMSの入荷確定で作成した入荷実績から仕入を登録する場合に、エラーになってしまう不具合を修正しました。
- 伝票日付制御
 - 伝票の日付が債権締／債務締実行後に締年月以前の日付に変更できてしまいましたが、変更時にアラートが表示されるように修正しました。
 - 対象伝票
 - ・出荷実績
 - ・売上
 - ・入荷実績
 - ・仕入
- 請求
 - ・請求伝票を作成した場合に、受注伝票で入力したメールアドレスの値が引き継がれない事象を修正しました。
 - ・都度締めの請求伝票の場合に、取引先の会社設定マスタ 国内決済方法(販売)閾値金額と国内決済方法(販売)2の値が反映されない事象を修正しました。
- 元黒、赤伝制御
 - 売上／仕入の元黒、赤伝で下記項目が編集できてしまう不具合を修正しました。
 - 売上
 - ・売上ステータス
 - ・出荷区分
 - ・国内決済方法
 - ・請求締区分
 - ・前受金
 - 仕入
 - ・仕入ステータス
 - ・納入場所区分
 - ・国内決済方法
 - ・支払締区分
- 購買オーダー
 - お客様独自のカスタム項目を追加されている状態で、購買オーダーから発注伝票を作成した場合に、カスタム項目の値が引き継がれない事象を修正しました。
- 出荷実績
 - 品目マスタ ロット管理区分が「ロット管理する(自動採番)」、「ロット管理する(手入力)」の品目に対して、受注から伝票未確定フラグONの出荷実績を作成した場合に、ロットNoの必須チェックにかかる不具合を修正しました。
- 債権／債務奉行連携

債権／債務奉行連携時に、連携件数が多い場合に処理が止まる不具合を修正しました。

カスタムメタデータ型「債権債務奉行連携バッチサイズ」より設定可能です。

※カスタムメタデータ型の詳細につきましては、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「カスタムメタデータ型の設定【必須/任意】」をご参照ください。

- 各伝票明細のBS科目
 - ・BS科目設定の購買対象レコードにおいて、伝票区分「通常」を選択していない場合は伝票入力時に値が設定されない仕様を改善いたしました。この改善により、購買対象の場合はBS科目設定マスクにおいて伝票区分未設定でも利用が可能となっております。

4. アップグレード手順

パッケージURL:

- ①Schema
- ②Label
- ③Utility
- ④Domain
- ⑤Service

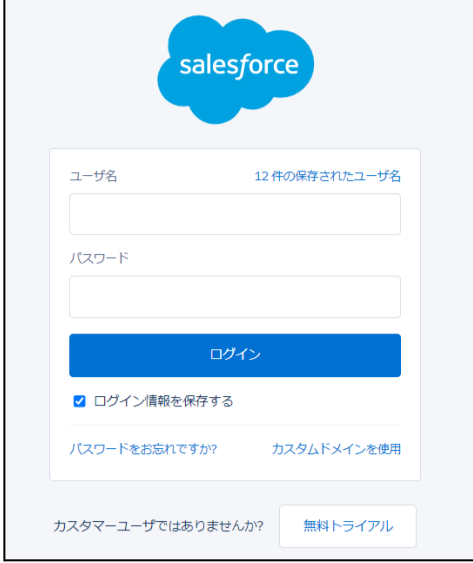
①～⑤のパッケージURLは「UM共通 リリースノート 2302E」に記載しています。

⑥販売購買 ver.1.90.0

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004O0EhAAK>

<手順>

- 1) **本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。**
上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。
(例) <https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID>
- 2) ①Schema～⑤Serviceのアップグレードを実施します。
「UM共通 リリースノート 2302E」を参考に、URLの実行を行ってください。
※必ずパッケージURL⑥の前に行ってください。
- 3) ⑥販売購買のアップグレードを実施します。
上記パッケージURL⑥にアクセスします。
- 4) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。

The image shows the Salesforce login interface. At the top is the Salesforce logo. Below it is a login form with fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). The 'ユーザー名' field has a link '12 件の保存されたユーザー名' (12 saved usernames). Below the password field is a blue 'ログイン' (Login) button. Under the button is a checkbox labeled 'ログイン情報を保存する' (Save login information). At the bottom of the form are two links: 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?) and 'カスタムドメインを使用' (Use custom domain). Below the form is a footer with the text 'カスタマーユーザではありませんか?' (Not a customer user?) and a link '無料トライアル' (Free trial).

- 5) アップグレード実行画面が表示されます。
※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名を確認してください。

<実行手順>

- a) 「管理者のみのインストール」をクリックします。

- b) 下図のように「同意」チェックボックスがある場合は、ONにします。
 c) 「アップグレード」ボタンをクリックします。

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
snps_um_schema	Synapse Innovation Inc.	ver 1.0.0	1.0

その他の詳細 コンポーネントを表示

アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。

下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
snps_um_schema		ver 1.15.0	1.15

- 6) 「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。
 インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。
 アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。
 ※パッケージごとに、手順 3)～ 6)のアップグレード作業を繰り返し行ってください











設定

ホーム

オブジェクトマネージャ

アプリケーション

パッケージ

インストール済みパッケージ

機能設定

分析

Analytics

自動インストールアプリケーション

インストール済みパッケージ

このページのヘルプ

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやエコノートを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたりすることができます。[パッケージのインストールの詳細はこちらをご覧ください。](#)

アプリケーションやエコノートは、パッケージでインストールされます。インストール直後は、すべてのカスタムアプリケーション、タブ、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付いており、組織内のユーザは利用できません。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズしてからリリースが必要です。エコノートは、[リリース] をクリックして、他の設定機能を使用して値にリリースしたり、グループ単位でリリースしたりできます。

インストール済みパッケージの横にあるリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、[アンインストール] をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、[ライセンスの管理] をクリックします。

インストール済みパッケージ

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	インストール日	制限	アップリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了
アンインストール	sns_um_label	Synapse Innovation Inc.	1.3	sns_um	2022/03/08 18:52	✓	0	0	0	不合格
アンインストール	UMProductionManagement	Synapse Innovation Inc.	1.1.3	sns_um	2022/03/08 19:06	✓	2	2	0	合格
アンインストール	sns_um_domain	Synapse Innovation Inc.	1.14.1	sns_um	2022/03/08 18:56	✓	0	5	1	不合格
アンインストール	sns_um_schema 説明 042c0000040CRAAK	Synapse Innovation Inc.	1.1.5	sns_um	2022/03/08 18:46	✓	0	73	129	不合格
アンインストール	sns_um_service	Synapse Innovation Inc.	1.2	sns_um	2022/03/08 18:57	✓	0	0	0	不合格
アンインストール	sns_um_utility	Synapse Innovation Inc.	1.6	sns_um	2022/03/08 18:53	✓	0	0	0	合格

アンインストールされたパッケージ

アンインストールされたパッケージのデータのアーカイブはありません。

5. UM販売購買用設定

UM販売購買の変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。
ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

5.1. UM共通用設定

UM共通リリースノートにも同様に設定の記載があります。
下記資料の設定内容を参考に、設定を行ってください。
「UM共通リリースノート 2302E」